



栽培は簡単で、5月ごろ株間40cmに植え付けます。草丈が30cm程度まで伸びたら、20cmくらいの長さで摘み取って収穫します。その後わき芽がたくさん出てくるので随時収穫します。暑さには強いですが乾燥には弱いので、マルチをしておきましょう。強い日差しが当たっていると硬くなりやすいので、半日陰の場所のほうが栽培しやすいです。

冬は地上部が枯れます。耐寒性は弱く、耐寒気温は3℃といわれています。多年草なのでプランターに植えて室内に入れておけば年を越えられるかもしれませんが、差し芽が増やすことができません。切った茎を水に差しておくとも根が出ます。

甘いだけじゃない！風味も良くて果汁たっぷり、非常においしいトウモロコシです。粒が柔らかいので食べやすく、余すところなく食べられるのもうれしいところ。生で食べることも可能です。強甘味のトウモロコシは味が小さいですが、ドルチェドリームは450gという満足な大きさに育ちます。粒は黄色と白が交じるバイカラーです。

中早生種で、種まきから収穫までが85日です。種まきは慌てず、地温が18℃以上上がってからの方が育ちます。雌穂の先が膨らんで丸みを帯びてきたか、握って確認しながら収穫すると良いですよ。

種はグリーンファーム各店にて、予約注文で承ります。



トウモロコシ
ドルチェドリーム

色々あるね、
お次は子どもにも
大人気のコレ！



温暖化の影響が、上田地域でかんきつ類を栽培する人が増えてきました。かんきつ類の中で最も耐寒性があるのがユズで、マイナス5℃まで耐えるといわれています。鉢植えにして冬は室内に入れ、霜に当たらないようにします。常緑樹なので寒さにやられると葉が落ちてしまい、弱ります。

本ユズは香りが強く最も出回っていますが、「桃栗三年柿八年柚子の大馬鹿十八年」といわれるほど、種から育てると長いこと実を付けないことが知られています。花ユズの方が、香りは控えめですが早めにたくさん実を付け、木が大きくなりやすく鉢植えに向く



ユズ



ので、家庭菜園では育てやすいかもしれません。

ユズは受粉樹がなくても実が付きやすく一本でも育てられます。実がなる年とならない年がでやすいので、整枝や摘果をして実の数を調節し疲れさせないようしましょう。剪定(せんてい)は1月に、内側に伸びた枝や真上に伸びる強い枝などを枝の付け根から切って整理します。苗を植えてから数年は実を付けずに株を育てると長い間楽しめます。

ほうさくClub!に関するお問い合わせは、各グリーンファーム店まで

◎中央店 ☎29-8177 ◎東部店 ☎62-0665 ◎西部店 ☎22-4091
◎さなだ店 ☎72-8072 ◎まるこ店 ☎42-2977 ◎よだくほ南部店 ☎85-2400
◎しおだ店 ☎39-8118

気軽に家庭菜園

第210回
今月は

ちょっとめずらしい作物の紹介

あけましておめでとうございます。今年も気になる野菜の紹介から新年を始めます!家庭菜園がより一層ワクワクしたものになりますよ。

ほうさくClub!



小玉スイカ
ピノ・ガール

じゃあさっそく
紹介していくよ!

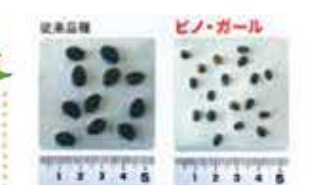


種が通常の4分の1まで小さくなったスイカ。そのため種を気にせずパクパク食べられます。もし歯が種に当たったとしても、種の殻も薄くなっているのでもちもちの食感。逆になんか苦味もありません。一度食べたならもう普通の種のスイカに戻れないといわれています。小玉スイカでありながらシャリ感も甘みも大玉に匹敵します。ちなみにスイカの種を食べても虫垂炎になることはなく、脂肪酸を多く含んでいる優秀な食物です。

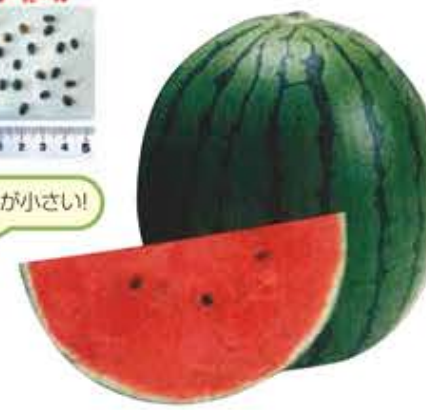
通常の小玉スイカと同じように、本葉が5〜6枚の時に親づるを摘み、元気な子づるを4本伸ばします。花が咲いたら受粉させ、日にちを記録しておきます。つる4本に3果付け(3子づる1本あたり0〜1個)、草勢が強ければ2番果も栽培できます。受粉から35〜40日で収穫です。少し小ぶりの小玉スイカです。



ハンダマ



このとおり、タネが小さい!



沖縄野菜として近年知られてきましたが、「水前寺菜」という名で加賀野菜としても有名で、古くから日本の各地で栽培されています。そのため別名が「金時草」「春玉」に「菜」などと呼ばれることもあります。

鉄を多く含むため、沖縄では「血の薬」といわれ、産後の食事に使われていたようです。葉の裏は鮮やかな紫色で、ポリフェノールを含みます。ほかにB・カロテンやカルシウム、マグネシウムを含み、栄養面でも期待されています。特にくせがなく、おひたしや炒め物、天ぷらやサラダでおいしく食べられます。ゆでるとめりが出ます。